

九里学園年表

1901年 (明治34年)	九里裁縫女学校創立
1903年 (明治36年)	門東町下の町に新校舎移転 寄宿舎設置
1906年 (明治39年)	研究科を併置する
1917年 (大正6年)	米沢大火 学校も類焼
1922年 (大正11年)	九里裁縫女学校師範科を開設
1923年 (大正12年)	職業学校令による許可学校となる
1928年 (昭和3年)	学則改正 1部4年、2部2年制とする
1929年 (昭和4年)	裁縫専修夜間部新設
1934年 (昭和9年)	アイロン消し忘れから校舎の大部分を焼失
1935年 (昭和10年)	財団法人九里学園設定 現在地門東町1丁目に新校舎竣工
1936年 (昭和11年)	別科専修科を設置
1939年 (昭和14年)	九里裁縫女学校西校舎2教室増築
1942年 (昭和17年)	範科・専修科を廃止 衣料切符制度となり教材の布地が入手困難になる
1943年 (昭和18年)	戦時の国家要請により九里裁縫女学校から米沢女子商業学校へ校名変更
1947年 (昭和22年)	九里とみ校長職を退く 学制改革により校名を米沢女子高等学校となる

『九里学園百年の軌跡』より一部抜粋

No	資料名	時代	法量	備考
1	本科及速成科過程細目	大正初期	縦24cm、横37cm	
2	本裁女物単衣本重ね	大正初期	身丈55.2cm、身幅19cm、袖10.4cm	本科三年時制作
3	本裁女物半重ね	大正初期	身丈55.2cm、身幅19cm、袖幅11.2cm	本科三年時制作
4	一ツ身単衣本重ね	大正初期	身丈31.2cm、身幅10cm、袖幅7.8cm	本科三年時制作
5	男物道行合羽	大正初期	身丈34.6cm、身幅20.6cm、袖11.7cm	本科三年時制作
6	大人シャツ	大正初期	桁丈24cm、胸回り17.5cm、腰回り18cm	本科二年時制作
7	蟬形型紙	大正初期		
8	飾り結び見本	大正初期	縦19.8cm、横17.3cm	
9	ボタン付け練習教材	大正初期	縦17.2cm、横14cm	
10	ボタン付け練習教材	大正初期	縦16cm、横12cm	
11	ボタン穴制作練習教材	大正初期	縦16cm、横11cm	
12	本裁男物袴	大正初期	丈30.5cm、身幅20cm	本科三年時制作
13	男物平袴	大正初期	丈30.5cm、身幅19.5cm	本科三年時制作
14	女物襠有袴	大正初期	丈30.5cm、身幅20.3cm	本科三年時制作
15	本裁袷股引	大正初期	丈31cm、股下26.4cm、腰幅11.7cm	本科三年時制作
16	股引	大正初期	丈37.8cm、股下27cm、腰幅17.5cm	
17	股引	大正初期	丈35.8cm、股下23.5cm、腰幅7.9cm	
18	袴腰板	大正初期	上部18cm、下部23.8cm、長さ5cm	
19	脚絆	大正初期	上部12.5cm、下部9.5cm、長さ11.7cm	
20	袴地型紙	大正初期	縦12.5cm、横672.72cm	
21	運針練習教材	大正初期	縦17cm、横88.5cm	
22	袖部品	大正初期	袖丈39cm、袖幅15cm、袖口21cm	
23	部分縫い練習	大正初期	縦19cm、横9.8cm	本科三年時制作

〈参考文献〉

- ・裁縫雛形を用いた裁縫教育の実態について 三友晶子 東京家政大学博物館紀要第17集 2012
 - ・「ちりめん細工」についての一考察(1):技法について 青木茂美 文化女子大学紀要30 1999
 - ・『日本人のすがたと暮らし - 明治・大正・昭和前期の身装 -』大丸弘 高橋晴子 三元社 2016
 - ・『子ども着物大全』似内恵子 誠文堂新光社 2018 ・『九里学園百年の軌跡』九里学園高等学校 2001
 - ・『九里とみ先生』学園創立100周年記念実行委員会 2001 ・『生徒活動にみる八十年』九里学園 1981
 - ・『近代日本の身装文化』高橋晴子 三元社 2005 ・『和布の手しごと事典』パッチワーク通信社 2014
- 協力:佐々木京子 沖田宜子 川合ひさ子 鈴木孝一 (時代のわすれもの) (順不同敬称略)